

月刊

さわやか

第15号
平成20年7月15日

《発行》
(社)日野市シルバー
人材センター
日野市日野本町2-4-7
0421581-8171

設立30周年

記念式典の大枠きまる

第1部式典

会員・元地域班長らを表彰

日野市シルバー人材センター設立30周年記念のメインイベント「記念式典」の大枠が決まりました。2部構成で、第1部式典、第2部アトラクション。

式典は、(1)関係者の挨拶、(2)事業所への感謝状・記念品授与、(3)会員・役員等・職員の表彰と記念品授与に大別されます。感謝状・記念品の対象となるのは、当センターが仕事を頂いている主要な民間発注者です。表彰されるのは、10年以上在籍している会員、2期4年以上務められた理事・監事の退任

11月22日午前10～12時
日野市民会館大ホール

者、同じく2期4年以上の地域班長の退任者(役員との重複を除く)、10年以上勤務している職員。

なお、式典当日(11月22日)在籍中のすべての会員に記念品が贈呈されます。さらに、式典への参加者には紅白饅頭が進呈されます。

できるだけ多くの会員の皆様の参加を期待しています。

第2部アトラクション

村上敏明氏ら

村上天アミリーが出演

アトラクションでは、日本の代表的テノール歌手、村上敏明氏をはじめ、父の敏雄氏、母の悦子さん、兄の宣也氏の村上天アミリーが総出演します。

会員数
平成20年5月31日
1,591名
男性 1,219名
女性 372名
入会者数
5月度14名
(男9名、女5名)
但し、退会者 9名

当センターホームページが全国優秀作に入選

全国シルバー人材センター事業協会(全シ協)が今年おこなった全国SCホームページの選考で、当センターが優秀作の一つに選ばれました。発表(6月3



日野市SCホームページ画面から
<http://www.hinocatv.ne.jp/~hsc/>

日)によると、計88件の推薦中、次の6SCが入選。佐倉市SC、大田区SC、日野市SC、八尾市SC、神戸いきいき勤労財団、山口市SC(順不同)。

「春の地域班会議」各班で順次開催

今年度の「春の地域班会議」が各班で、6～7月に順次開催されています。7月6日(日)現在、23班(全体の7割)が済み、例年どおりの進行状況です。中には、会場等の都合で8月以降の開催になる班もあります。

春の会議には、各理事が手分けして参加し、討議資料にもとづいてセンターの現状、今年度の事業計画等について説明しています。会議で出された質問や意見については、後ほど集約して回答を掲載します。

中面に別冊「就業情報折込み」就

安藤理事、新規テーマの特命担当に

事業部会長に今井理事

昨年4月以来、役員会の一員である安藤義男筆頭理事は事業部会長をも務めてきましたが、今後は新公益法人対応委員会、中期計画策定委員会等の新規テーマに専念するため、その特命担当理事となります。なお、その他の委嘱委員は従来通り継続します。

これに伴い、後任の事業部会長には現副部会長の今井信一理事が就任します。

地域班ごと

記念写真撮影すすむ

「春の地域班会議」の場をお借りして、各地域班メンバーの記念写真の撮影が進められています。これは、『シルバーひの』新年号の30周年記念特集に掲載するため、撮影は当センターのフォトサークル「であい」の方々の協力のもとにおこなわれています。記念写真のためにも多くの班員の参加が望まれます。

ボランティア活動はなぜ必要か

このたび開催された「地区リーダー会議」(3面に記事掲載)で、ほとんどの地区リーダーから、「ボランティア活動に参加する人はほぼ固定していて、出ない人は徹底して出てこない」「そこで、シルバー人材センターがボランティア活動をするのはなぜか、分

普及・啓発と就業機会拡大を期する

かり易く解説してほしい」との意見や要望が出されました。

このことは、地域班長会議や地域班会議でもよく聞かれる問題です。

これについては、3年前に当センターがボランティア活動を開始するときに作られた「手引き書」(平成17年7月付、開始は同年10月)に、次のように明文化されていますので、熟読し、理解していた

だきたいと考えます。

「主旨」地域社会の一翼を担うため、地域社会に積極的に参加・貢献し、地域に密着したボランティア活動を展開していく。この活動を通じてシルバー人材センターの普及・啓発と就業機会の拡大を期する」(傍線・引用者)

すなわち、日野市からは全契約高の半分近くの仕事を、また多額の補助金をいただいています。その恩返しのためにも、地域社会に貢献するボ

ランティア活動をしているの

です。シルバーがボランティア活動をする姿を市民の方に見ていただいで、シルバーのことを知っていただく。こうすることにより市民からの評価を得て、就業先の開拓にも結びついていく、ということなのです。

このことをよく理解していただいで、会員の皆様の積極的な参加を希望します。

(総務部会長 高木計宏)

理事会二ニュース

第4回理事会 6月30日

・審議事項 正会員の入会、就業調整委員会設置要綱の一部改正について

(改正の要点は、就業調整の基準として「会員の希望と能力に応じた」「能力等を総合的に検討して」と規定されているのを、「会員の希望と適性に応じた」「適性等を総合的に判断して」に変更)

・報告事項 5月度事業運営状況、各専門部会・安全管理委員会の6月度活動報告

「センター」行事日程

7月15日(火) 地域班長会議
 生活・保健センター
7月16日(水) さわか安全大会
7月17日(木) 役員・地域班長合同研修 日光市SC

配分金の支払日

7月18日(金)
8月20日(水)
9月19日(金)
10月20日(月)
11月20日(木)
12月19日(金)
1月20日(火)

日野市シルバー人材センター設立30周年記念行事
 第12回 会員作品発表会 《作品募集》

開催期間：11月20日(木)～23日(日) / 日野市民会館2・3階展示室

募集品目：絵画、水墨画、写真、書、切り絵、手工芸品、盆栽、水石、生け花、陶芸、カップ
 ークラフト、紙漉き、飾り炭、その他(ただし、大きなオブジェ等のご遠慮ください)

作品サイズ：絵画=15号以内、書=連落ち以内、写真=六つ切り以上

申込方法：氏名・地域班名・電話番号、品目・点数・題名・サイズを明記し、ハガキにて

申込期限：9月末日まで

申込み・問合せ先：事務局・鶴川 Tel. 581-8171

地域班長連絡会/地区リーダー・担当理事一覧表(平成20年度)

地区名	リーダー	地域班	担当理事
A	金田 春雄	日野1、日野2、万願寺1、万願寺2、日野4、日野本町	橋本 幸久
B	繁山 浩三	新町、栄町、神明、大坂上、日野台1	伊藤 幸平
C	清水 憲素	日野台2、多摩平1、多摩平2、多摩平3、旭が丘1、旭が丘2	今井 信一
D	松本 仁一	豊田、東豊田、東平山、西平山	伊藤 義視
E	羽入 幸雄	平山1、平山2、鹿島・南平、南が丘・南平台、南平2、南平3、程久保	田中 政寿
F	土方 正作	新井・高幡、落川・百草、三沢、高幡台、百草台	菅原 嘉雄

本年度第1回
 地区リーダー・担当
 理事合同会議開く

本年度第1回地区リーダー・担当理事合同会議が6月16日(月)、センター会議室でおこなわれました。これには地区リーダーと担当理事各6名(一覽表参照)のほか、井口会長、北村副会長、池田常務理事、高木総務部会長、田村総務部会員が出席しました。

挨拶に立った井口会長は、改めて地区リーダーの役割に言及、「地区リーダーは地域班長とともに、センター組織の先端にあつてセンターと地域班のパイプ役であり、センター運営の要である」と強調しました。

討議では、30周年記念として全地域班一斉清掃をやる意義が検討されました。ボランティア活動の意義についても、毎度ながら意見が交わされました。

さらに、「地域班長のなり手がいない、どうしたらよいか」で活発な討議がおこなわれ、「魅力ある班長活動」のあり方が話題になりました。

第56回定期総会
 議案質問への回答

第56回定期総会(5月30日)に会員の坂義雄氏から出された第1号議案についての質問3点、行政評価への改善策、民間企業で増えた仕事、フォーラム参加者の入会数 に対し、高木理事は議案説明の中で、契約単価の見直し、職群班の収支改善など、西友豊田店の駐車場管理、エプソンロジステックスの倉庫管理など、直接の入会者は3名だが、過半数がアンケートで「関心あり」と回答と答えました。

それってなに?
 地区リーダー

「地域班長連絡会運営要領」に基づく規定。地域班活動をより円滑に運営するため、隣接する地域班を地区別(A～Fの計6地区)に編成し、地区内の地域班長で地域班長連絡会を構成。連絡会では地域班長の互選で地区リーダーを選出し、リーダーは副リーダーを指名します(ともに1年交代の輪番制、再任を妨げず)。地区リーダーは連絡会を主催し、センター・地域班の意思疎通と相互協力を推進します。

健康だより 夏の健康

熱中症予防に
電解質の水分補給を

「熱失神・熱疲労・熱けいれん・熱射病」を総称して、熱中症といえます。

人は体温の上昇を発汗によって防いでいますが、失われた水分を補給しないと脱水症状となつて、体温調整能力や運動能力が低下します。平成6年以降の夏は異常とも言える暑さが続き、緯度の高いヨーロッパでは熱波による高齢者の死亡事故が報じられました。

梅雨のあるわが国では、突然気温が上昇した日や梅雨明けの蒸し暑い日など、暑さに慣れない期間で熱中症が多く認められ、8月中旬以降ではかえって少なくなると言われます。

就業中、もし「頭痛・目まい・唇の痺れ・吐き気・脱力感」などが認められた場合、涼しい場所で休養し、水分の補給とともに、「くび・脇の下」など太い血管のある部分を冷やすなど応急処置が必要となります。

このような事故を防ぐために、

汗で失われた水分を0・2%程度の食塩水、または多くの電解質が含まれるスポーツドリンクで補い、とくに暑熱環境での屋外就業では、体力の消耗防止に努める必要があります。

(安全管理委員 山中康臣)

熱中症の仲間を保護
職場リーダーの機敏な措置で

6月6日午後、日野市石田地域の公園で、芝生の手入れ作業の就業をしていた会員が、作業を終えて同僚(職場リーダー)と休憩中、突然倒れました。同僚は仲間を介抱すると同時に救急車を要請し、シルバー人材センターにも連絡しました。

急報を受けたセンターでは、事務局から池田局長(常務理事)と半田局長代理、さらに公園担当の統括リーダー・橋本理事の3名が現場に急行しました。

3名は救急車と合流後、本人の連絡先等を救急隊に知らせ、搬送先が市立病院と判明すると、半田代理が同乗して病院へ。診察によると症状は熱中症で、無事回復しました。職場リーダーの機敏な措置の賜物です。

好評だった
チェーンソー講習会

安全管理委員会主催による初めてのチェーンソー講習会が6月13日、センター事務所でおこなわれました。まず2階会議室で取扱説明(取扱・分解・刃の選定等)があり、次いで敷地内駐車場で実習しました。

晴天に恵まれ、予想を上回る40名が参加。(株)マキタと堀辺建材店の指導、関係者の協力を得て、一同は熱心に受講し、盛会のうち無事終了しました。(山中記、写真=事務局・山口)



チェーンソーの実習

六月の朝

杉江 優

六月の朝は明るい。毎日、仏壇に手を合わせると窓から朝日が入ってきて気持ちがいい。何気なく父の位牌を眺めてはうと気がついた。「私の今の年齢は父が脳卒中で倒れた年齢だ」父は半身麻痺が残り料理職人の職を失い、四年後に他界した。五十七年の生涯を終える瞬間、どんな想いだっただろうか。当時、大学生だった私を残して旅立つことに、きつと無念の想いがあつたのではなかつたかと思つた。

世帯主を無くした家庭はあつと言つ間に暮らしが苦しくなつた。母は昼夜、仕事を掛け持ち、私は奨学金とアルバイトで学費を稼ぎながら生活を凌いだ。

今、私には二人の息子がいて大学に通っている。レポート提出が大変だと愚痴をこぼしているが、学生生活を屈託なく楽しんでいる。

そんな姿を見ていると健康に気をつけて長生きしようという想いが沸いてくる。仏壇に飾られた父の写真が私を見て笑っている。